

## 豊類公正競争規約作成連絡会 第21回 幹事会 概要

日時：平成30年8月22日（水）10：30～12：00

場所：中央合同庁舎4号館 共用408会議室

出席：関係団体 全国い生産団体連合会、全日本豊事業協同組合、全国豊材料卸商組合連合会、全国豊材商社会、全国豊産業振興会、全日本 ISO 豊振興協議会、全日本 JIS 豊床工業協同組合  
オブザーバー 消費者庁、農林水産省

総会で「連絡会会員に対する臨時総会及び通常総会開催遅延についての謝罪文」についての言及があり委員の皆様方の色々なご意見をお聞きして何らかの対応する考えを会長が示した。また、執行部として私の力不足で見解がまとまっていないことも深く反省していると話した。これからの連絡会の刷新に向けてご意見を承りたいとして会長あいさつを終えた。

### ○総会について

総会は委任状を含めて定足数に達して成立、議題全て承認されたことを報告した。

ただ、川下の豊屋さんが中心になっていくのは疑いのない所。総会に来て意見を言われた方々は、豊屋さんの中でも影響力を持った人であることは間違いない。公正競争規約について積極的に発信されている。

彼らが問題にしているのは、委員会の体(てい)だ。総会で問題になった15万円なにがしかの使い道。我々は規約以外に金を使っているわけではないが、事前に会議で経緯を把握して頂いたのなら進行上やむを得ないことも理解頂けたのではないか。

しかし、総会資料で突然公表された場合、それは指摘しないわけにはいなくなる。連絡会として多くの意見を取り入れて運営して行こうと委員全員が考えているにも拘わらず、絶えず総会出席者として対極してしまうことは非常に残念であり、更なる悪循環を招き徒労にしか終わらない。

委員会の中に連絡会のメンバーを入れるべきではないか。これは当初、連絡会会員を募集した時、規約づくりに参加できるという大前提があった。豊仕様書を作る時に連絡会メンバーの意見を聞いたかと言われた。そういうところから規約作成に関わりたい人がいるわけだし、そういう方をなにがしかの枠で委員会に入ってもらい、その方を交えていけばよいのではないか。

例えば、調査広報委員会で調査という意味で連絡会の意見を調査するといった形で連絡会メンバーから数名入っていただき話(意見交換)をする。そうしないと一年に一回の顔合わせでは大事な討議が混乱するのでは好ましくない。

### ○今後の取り組み方について

これまで、あいまいなままで推移した点もあり連絡会、幹事会はきちんと機能できるようにすることだ。抜本的に改善していかなければ総会の混乱は避けられない。総会で初めて聞く話になってはいけない。

前回の総会で最後に議長が話していたように組織の再編は必要。同じメンバーでは考え

が全部一緒だ。ここで組織の再編をしました。総会を踏まえてメンバーの入れ替え。メンバー構成の入れ替え、これはやるべきです。

結果的に実際動いてもらうのは畳屋さん。私たちがここで良いことだといっても話にならない。末端に戻したときにやらないと言われたら困る。組織に入ってなくても文句を言われないような体制作りから始めるべきだ。そこに自分たちが関わればよくなる。

まず再編成を提案したほうが良い。メンバーが変わった後からやるべきではないか。このメンバーのままでは、来年の総会も今年と同じ結果にならないか。総会後の議長発言は重要。組織再編で新たに出発する。メンバーは畳屋さんを中心になるほうが良い。生産者はすでに情報発信している。それを活用して欲しい。

畳屋さんの動きやすい、書きやすい、伝達しやすい形をまず作って頂き、それを踏まえて規約に持ち込む。まず頭から規約からではなく畳屋さんにとって作業がしやすい内容と消費者の求めている内容にする。

畳屋さんが消費者の方に私が扱っている畳表は化学工業表、中国表、国産表、それぞれの良さをアピールする営業トークができる仕様書などをペーパーで残すことだ。

熊本の生産者は442名しかいない。10年間で500名減った。何とか畳表を残すには畳が売れることだ。国産であることを消費者に知ってもらわないと。

私が聞いたところでは、総会に意見を言った方は総会を通そう、協力しようと思って参加した。想定外のことが起きてしまい、それでおかしくなった。総会をつぶそうとしてきたわけではないと話していた。

総会に出席された方の中から10名、代表で出てきて頂き、大いに意見を持っている人たちを入れたほうが良い。発信力がある、非常にその人のひと言が広がるならばそういう人たちに来て頂きたい。共にやってくださいとお願いする。

それはわかるが、募集の仕方と交通費の問題がある。それぞれの立場で動かれている中で、このあたりも理解して頂かないと。交通費の負担とかあり、それがクリアできれば問題はない。

みんなが丸となってやらなければならない。

基本的にはおっしゃる通り。畳屋さんが最終的に消費者にどう理解してもらうかだ。我々(生産者、メーカー、問屋)はオブザーバー。そのためには「こういうものを知りたい」、「こういうふうなものを作ってもらえないか」、「そうすれば私たちもできる」と言ってほしい。

畳屋さんが中心となる委員会でもまず議論してもらって「地方の材料商にはこういうことをお願いしたい」、「メーカーにはこういう情報を発信してもらいたい」、「生産者のほうから、こういうものをもらいたい」といった流れになると思う。

畳屋さんが取組みなければ、生産から流通の流れは出来ない。すでに規約案はある。この案で「ここまではできる、できない」、「これからどういう材料を頂戴できるか」といった方法ではどうか。

再編成でなく、連絡会員にも入って頂き、いまある委員会と関連の委員会を作り、そこで具体的な話をしてもらうのが一番早いのではないか。同時にオブザーバーの方も一緒に委員の中に入って頂き、建設的な意見を言って頂きたい。それぞれの発言に責任をもつて会議を進行して頂く。

全商連(福岡、熊本、岡山)の会長は持ち回り制で今度、肥後物産(熊本)の松永さんが会長(今月18日)になったことを報告したい。今後の幹事会には松永賢一さんが出席され

るはずです。

#### ○委員会について

連絡会の「幹事会及び専門委員会組織(案)」を提出して意見交換した。現行の3委員会にさらに「連絡会運営委員会(仮)」を設ける試案も協議した。

調査・広報委員会はアンケート調査に頼る面もあり、組織再編後は、同委員会の業務が増え、今後の活動が重視される見方もあった。人員数の見直しもすすめる方向で検討する。これまで委員長には材料商の高橋さんが担当していたが、本格的に事業を進めていくには豊屋さん代表に就任してもらうことで事業展開もスムーズにいくのではないかといった意見も聞かれた。委員会構成のあり方については、さらに検討を進めていく事となった。また、委員長には責任を持つことの要望が強かった。アンケートも仕様書を絡めた豊屋さんの実態調査を実施してはどうかといった提案もあった。伝達方法もメールを持たない業者もあり情報提供の難しさも紹介された。調査・広報と合わせて規約検討委員会、公正取引協議会検討委員会の各委員公募も行うことも確認した。

公正取引協議会検討委員会は、会費や反則金などの検討などお金に絡むだけに委員だけで決める内容ではない。委員長の決済だけでは絶対にできない。協議会の設立については慎重にやっていかなければいけない。各委員会で公募して10人程度は来るのではないか。公正競争規約の目玉的などころを検討していく機関だけに全員で対応していく事が必要ではないか。

最後はお金にからむ協議会になるのではないかと心配する。このため、幹事会の中でタタキ台を含めて協議して頂かなければいけない。予算案として提出したとき賛同して頂けるのか。

各委員会の業務を解説した提供資料によると当面、公正取引協議会検討委員会と規約検討委員会は、調査・広報委員会をフォローしていく事になるのではないか。

この前の総会を踏まえて、当面やらなければならないのは、①連絡会会長を新しく招集した幹事から選任する、②豊仕様書の普及 だと思ふ。雛型で作っている仕様書を新メンバーで協議して、早急に取り組むことではないか。それに取り組んだ後に結果がどうなるのか。これは翌年になるかわからないが、「馴染みやすいのかどうか」などの意見を頂きながら修正していく。全国7,000人の豊屋さんが半分の3,500~4,000人取り組んでいる状況になればスタートすることになる。そこで規約の承認を取り付ける。そこまで行けば協議会の設立に行くのが一連の流れになるのではないか。

これまでは、豊屋さんが豊仕様書を取り組みやすくすることに重点を置いてきたが、ここで大切なのは、消費者が豊の言葉の中で何を情報として求めているのか、消費者の意見はないのではないか。消費者ニーズを業界で即答できない状況にある。

今の豊仕様書は「最低、消費者がここまでは必要としているだろうという項目」を上げて作ったものと思う。消費者の方々にここにお呼びして豊に対するイメージの中で「どんな情報が欲しいか」を聞きましょうと、この会議で提案したことがある。それに基づいて私たちは、情報発信の元を作らないといけなと思う。

委員会制度について、組織再編の中で連絡会全体を見渡せるような「連絡会運営委員会」(仮称)を新たに設けることも検討してみたい。総会開催から調査広報、規約、協議会、などとは異なる新しい役割を持つ組織としたい。そして今までのような連絡会会員と委員会と

の対立的な構図を少しでも改善したい。

過去のような全日昼に対するアレルギー的な面は解決されている。今は対立でなく、どうしたら豊業界が良くなるか？で意見を出してもらえれば、自ずと協調という流れができるのではないかと確信する。

以上